

なかがみ

第151号
 編集と発行
中部農業改良普及センター
 〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1丁目6番34号
 (沖縄県中部合同庁舎2階)
 電話 098-894-6521
 F A X 098-937-2502

受賞おめでとうございます！～沖縄県マンゴーコンテスト～



受賞者と関係者ら

(左から2番目:新城麻衣子氏、3番目:野波寛正氏)

今期は開花時期の寒暖差が激しかったこと、果実肥大期の日照不足からマンゴーの栽培には厳しい気候となりましたが、生産者の日頃の徹底した栽培管理によりコンテストには高品質な果実が出揃いました。

受賞した生産者の栽培管理として特徴的なもののひとつが、果実に太陽の光が十分当たるように枝の誘引、摘蕾・摘果、花穂と果実のつり上げがなされており、幼果の頃から赤く色づいた果実を生産する管理がなされていることです。また、外観だけでなく糖度も高かったことから、水分や温度、肥培管理などが適切に行われていたことが伺えます。中部地区はマンゴー栽培面積としては小さいながらも品質の高い果実が生産される産地として今後も期待されています。



受賞者の早期摘果事例(2024年4月23日)



受賞者の果実吊り上げ事例(2024年5月17日)

注)上記写真は別々の生産者ほ場です



パッションフルーツ栽培講習会



中部地区では近年パッションフルーツの生産者が増えつつあります。普及センターでは令和5年度から北中城村において地域農業振興総合指導事業を実施しており、その一環としてJA営農振興センターと共同でパッションフルーツ栽培講習会を開催しました。6月24日の講習会では、「次期栽培に向けた栽培管理と台風対策」、「定植前に知っておきたい病害虫防除」について講義を行い、北中城村以外の市町村からも参加がありました。パッション栽培に興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

サツマイモ基腐病に強い新品種の紹介！

沖縄県内で蔓延し、農家の悩みのタネとなっている“サツマイモ基腐病”に対して抵抗性のある紅芋が品種登録されたので、ご紹介します。

べに

おぼろ紅

特徴

- 形状は短紡錘形から紡錘形で、皮色は紫赤、肉色は淡紫色です。
- 蒸しいもの肉質は中質からやや粘質です。
- 食味は「ちゅら恋紅」や「備瀬」より優れます。
- 収量は「ちゅら恋紅」と同等です。
- 島尻マーヅでは、ジャーガルに比べて紅色が薄くなる傾向にあります。ご自身の畑、用途に合わせて栽培してください。



おぼろ紅

ニライむらさき

特徴

- 形状は卵形、皮色は紫赤、肉色は濃紫色です。
- アントシアニン色価は「ちゅら恋紅」と同程度で加工適性に優れます。
- 食味も優れており、青果用にも適します。
- 収量は「ちゅら恋紅」よりも劣りますが、基腐病に対して強い抵抗性があるため、健全芋は「ちゅら恋紅」よりも多くとれます。
- ジャーガル土壌では収量が低くなる傾向にあるため、島尻マーヅ土壌での栽培が適しています。



ニライむらさき

※「おぼろ紅」、「ニライむらさき」の育成者は農研機構であり、利用にあたっては農研機構の利用規則等に従う必要があります。

(お問い合わせ先)

農研機構九州沖縄農業研究センター糸満駐在 〒901-0336 糸満市真壁 820
TEL: 098-840-3553

(品種に関するお問い合わせ先 URL)

九州沖縄農業研究センター:

<https://www.naro.go.jp/laboratory/karc/inquiry/index.html>



注) 本資料は、農研機構 HP の情報をもとに引用・改編し、作成されています。



天敵を利用した害虫防除の紹介



近年、施設野菜（ナス、ゴーヤー、サヤインゲン等）において、天敵（害虫を食べる虫）を利用した害虫防除を行う農家が増えており、農薬の低減につながっています。今回は県内で普及しつつある天敵について紹介します。

1. 普及し始めている2種類の天敵

スワルスキーカブリダニ

- ・体長 0.3mm
- ・捕食可能害虫 コナジラミ、アザミウマ、チャノホコリダニ
- ・天敵製剤として販売されている

※害虫がいなくても、花粉をエサにして生存が可能！



スワルスキーカブリダニ



放飼の様子

タバコカスミカメ

- ・体長 3~4mm
- ・捕食可能害虫 コナジラミ、アザミウマ
- ・ほ場周辺からゴマやクレオメで集めることができる

※タバコカスミカメ付きクレオメも販売され、導入しやすくなりました！



タバコカスミカメ



クレオメ

2. 天敵を利用するメリット・デメリット

【メリット】

- ・抵抗性が発達し防除困難な害虫に対しても対応できる。
- ・殺虫剤の散布回数が削減できる（右表）。

【デメリット】

- ・化学農薬と比べて、即効性に乏しい。
- ・天敵に影響の小さい農薬を選んで使う必要がある。（使用できる農薬が少なくなる）

施設ゴーヤー栽培での導入事例（読谷村）

	県慣行栽培	天敵利用（タバコカスミカメ、スワルスキーカブリダニ）
農薬使用回数（殺菌剤含む）	33回	12回

R5年度中部農業改良普及センター調査

3. 天敵利用のポイント

- ・害虫をできるだけ0にした状態で導入する！
- ・導入後、害虫、天敵の動向をこまめに観察する！
- ・病害虫は早期発見に努め、天敵に影響のない薬剤で防除する！
- ・殺菌剤の散布の手は緩めない！（予防散布）
- ・ハウス内の除草、入口の2重ネットなど、様々な防除対策も併せて行いましょう！



入口の2重ネット

天敵利用に興味のある方は、普及センターにご相談ください。

さとうきび畑の雑草は早めの対策が大切

1. 夏植え直後に土壌処理剤散布

土壌処理剤は土壌表面に膜をつくり、出芽前や生育初期の雑草の芽や根から吸収されて除草効果を示します。土壌表面にきれいな膜を作るイメージで、膜を踏まないよう転倒に気をつけて後ろ歩きで散布してください(図1)。

散布前には砕土を丁寧に行い、畑が乾燥している場合は、多めの水で規定量の薬剤を散布しましょう。

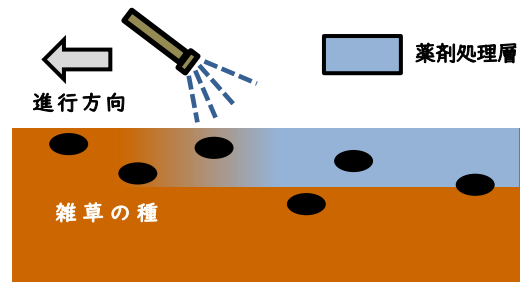


図1. 土壌散布方法

2. 雑草が小さいうちに薬剤散布

雑草が出芽した後はアージランや2,4-Dアミン塩などの茎葉処理剤で早めに除草しましょう。

(1) アージラン使用時の注意点

イネ科から広葉雑草まで、広範囲の雑草に効果を発揮します。ただし、草丈が15cm以下の小さい雑草に有効です。薬剤の効果が出るまで2~4週間ほどかかります(図2)。

薬剤散布後は、雑草をよく観察して2度かけしないように注意しましょう。

また、アージランに展着剤を加えて散布しないでください。さとうきびに薬害が出ます。

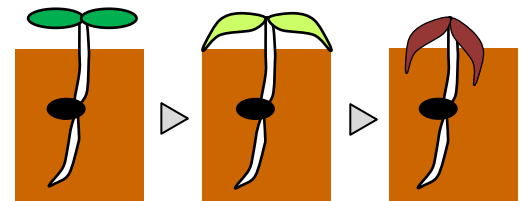


図2. 茎葉処理剤散布後に枯れていくイメージ

(2) 2,4-Dアミン塩使用時の注意点

イネ科雑草を枯らしませんので、さとうきびの株元にある雑草に散布できます。草丈は30cm以下の雑草に有効です。収穫30日前まで散布することは可能ですが、製糖期が早まることもあるため収穫する畑では**10月末で散布を終えてください。**

土壌保全に関する取り組み ~ベチバーの植栽~

県では農業者の農業生産活動の場から土壌の流出を未然に防止し、農業者個々の意識の啓発を図ることを目的として、「土壌保全月間」、「土壌保全の日」の取り組みを行っています。

今回は台風襲来の為、農業者及び関係機関を集めた「土壌保全の日」イベントは中止となりましたが、PR活動の一環として、うるま市伊計島にてベチバーの植栽を行いました。

これからも、みんなで大切な畑の土を守りましょう!



7月30日ベチバー植付



7月30日ベチバーかん水



8月15日ベチバー活着状況